

■ 平成27年7月28日 建設委員会県内調査

1 都市計画道路 石木城線（奈良市石木町）

【調査目的】新奈良県総合医療センターへのアクセス道路について

【調査概要】工事概要の説明を受け、建設工事現場の見学を実施

<説明の概要>

都市計画道路 石木城線の位置づけ等について

- 都市計画道路石木城線は、北和医療の高度医療の拠点病院となる新奈良県総合医療センターへのアクセス道路として整備。
- 骨格幹線道路に位置づけている県道枚方大和郡山線及び大和中央道から当道路へアクセスし、新奈良県総合医療センターへ至る。
- 平時の通院、緊急時の搬送の円滑化に寄与する役割を持った重要な道路となる。
- 平成24年12月に都市計画決定、平成25年3月に事業認可を受けており、奈良市域部分は平成25年度に事業着手。
- 平成29年12月の完成を目指す新奈良県総合医療センターと一体となって事業を進めているところ。
- 全体の延長（石木町～城町）は約1kmで2車線道路。

トンネル部分について

- トンネル部分の工期は平成27年12月末まで。
- 工期の短縮を図るため、山岳トンネルのような山を切り抜いて設置するのではなく、開削トンネル工（オープンカット）により実施。
- トンネルの躯体は現場打ちコンクリートではなく、工場で製作した部材を現場に運び込み、それらを組み合わせ・連結している。
- アーチカルバート スパンザアーチ工法を採用しており、奈良県の公共工事では初めて採用する工法である。
- トンネルの延長は約280mであるが、この工法の施工事例は全国的にみてもあまりない。
- 幅7mの車線、設計速度は40km/h。
- トンネル部分の工事費は約14億6700万円。
- 現在の進捗は約85%。この後、埋め戻しを行い竣工させる。
埋め戻し後のトンネル上部は駐車場として利用。



2 キトラ古墳周辺地区等（高市郡明日香村檜前等）

【調査目的】（仮称）体験学習館等の建設について

【調査概要】 国営飛鳥歴史公園及びキトラ古墳周辺地区の整備概要の説明を受け、現地見学を実施

<説明の概要>

国営飛鳥歴史公園について

- 国営飛鳥歴史公園は昭和45年に設置。当初は石舞台地区、甘樫丘地区、祝戸地区の3地区であったが、その後高松塚壁画が発見され、高松塚周辺地区を追加。平成12年にキトラ古墳が特別史跡に追加されたことから、平成13年より事業化され、現在では5地区からなる公園となっている。
- 祝戸、石舞台、甘樫丘、高松塚周辺の4地区（46.1ha）が平成6年まで概成開園しており、現在、キトラ古墳周辺地区（13.8ha）の整備を推進中。
- 国において17カ所の国営公園の整備及び管理を実施。
 - ①一の都府県の区域を超えるような広域な見地から設置されている公園が12ヶ所
 - ②国家的な記念事業又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため閣議の決定を経て設置されている公園が5ヶ所※当公園は②に該当。

キトラ古墳周辺地区の整備について

- 平成13年3月に国営公園として整備することが閣議決定され、平成18年3月に基本計画を策定。周辺と一体的な調和を図りながら、古都飛鳥の歴史的風土を体験しながら学習できる拠点整備を推進しており、平成28年度に開園する予定。
- キトラ古墳そのものは特別史跡に指定されており、文化庁が整備を行っている。
- 国営飛鳥歴史公園事務所では、キトラ古墳周辺地区において、体験的な歴史学習の展開をコンセプトに（仮称）体験学習館の整備等を進めている。
- （仮称）体験学習館は、キトラ古墳壁画の保存・管理と併せ、古代飛鳥の技術や文化について、展示・体験・案内を通じて学習できる拠点として、現在建設を進めている。地上1階、地下1階となっており、1階ではキトラ古墳の壁画の展示、管理を行い、地下1階では壁画を見る前に学習できる仕様としている。

説明を受けた後、（仮称）体験学習館のイメージ画像（動画）を視聴

